

6

三浦

浦

歩

道

(家族向・一般向)

絵になる風景がつづく

1965年に松崎―石部間にバスが開通する前は、「伊豆の秘境」と呼ばれていた松崎町南部の岩地・石部・雲見の三地区を総称して地元の人

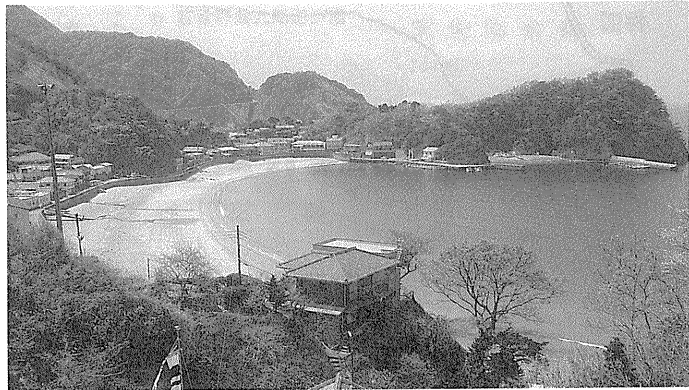
三浦と呼んでいる。バス道路ができる前に、地元の人達が利用していた生活道路に手を加えて作られたのが三浦歩道。岩地・石部・雲見を結ぶ延長4・6km、約2時間のハイキングコース。高尾山コース約7kmと結んで歩くのもいい。

松崎から雲見入谷行のバスで、富士山と20体の彫刻が置かれた富士見彫刻ラインを通り10分、一里塚で下車する。

コースの起終点は、ここからアロエの段々畑を下った岩地海岸にある。正確に歩きたい人は、バスで一つ先の岩地温泉まで行き、海岸へ出てから段々畑を一里塚まで上るといい。登りつめた所には石仏が1体、やさしく迎えてくれる。

山側へ伸びた広い舗装道の脇に案内標(石部まで2・4km)があるので、これに従い細い段々畑を登っていく。冬にはアロエやマーガレットが咲く。振り返ると岩地海岸が一幅

の絵のように美しい。石段を上って広い道に出たら右へと下る。舗装された道が大きく右へ



▲岩地

カーブする手前から案内標にしたがい左へ上る。旅荘の脇を通り、畑の中の小さな四ツ角を右へ旅荘の裏手へと廻り込む。平坦で展望のない道を行くと間もなく休憩舎。かつては、

ここからも展望がよかったが、樹林が繁り、今は全く展望がない。

小さな沢を渡る。椎茸の林を見て少し行った小さな峠に石仏が1体。宝暦五年(1755)と彫られているから、今から約250年前の江戸時代に彫られたものらしい。

岩地から1時間ほどで石部。いったん国道に出て山道川に沿って集落の中へと行く。澄んだ山道川には、たくさんの鯉が泳いでいる。

むかいばしを渡ると伊志夫(石部)神社。10月の最終土・日曜日に同神社の例祭が行われ、悪魔払いの神樂が奉納される。

神社からは少しきつい登り。ジグザグの急な上り道を15分で分岐点。雲見へ1・52km、石部へ0・76km、展望台へ0・2kmの案内標がある。

桜の林をくぐって黒崎展望所へ出る。ここからは、眼下に岩地、石部の港が一望できる。

分岐点まで戻り三競展望台へと向う。山桜が多い。3月下旬から4月にかけて桜のトンネルができる。足もとにはツワブキやアシタバが多いので山菜採りにもいい。

15分ほどで三競展望台。正面に御前崎から三保、眼下に岩地の日和山萩谷崎、遠く堂ヶ島から麗峰富士の姿がある。

赤井浜への道はアロエが咲く荒れた段々畑の長い急な階段。下り切る



▲黒崎展望所より

と国道に出る。左へ少し行くと石段を上がつた所に雲見靈廟。石仏がたくさん置かれている。

赤井浜へ降りると、切りキズや皮膚病によく効くという温泉が湧いていて、釣り人や海水浴客に喜ばれている露天風呂がある。(6〜9月)

国道から、また山道へと入ると石切場跡。ここは、その昔江戸城修築の際に、間地石を切り出したところ。

雲見湾に浮かぶ夫婦岩や烏帽子山を眺めながら下ると雲見金沢の終点。足に余裕のある人は、163mの烏帽子山へ登ってみるのもいい。浜にある雲見くじら館(有料29頁参照)・足湯へも寄って行こう。

歩程 約2時間

